

宇都宮市立陽西中学校 第3学年 生徒質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○●「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか」という質問に対して90.5%の生徒が肯定的回答をしている。これは全国平均の86.6%を上回っており、国内外で起きている事象への関心の高さがうかがえる。一方で、「新聞を読んでいますか」という質問に対しては12.4%の生徒が肯定的回答をしている。これは全国平均の13.9%を下回っており、インターネットでの情報収集が多いと思われる。

今後は、正確な情報を入手することの大切さを伝えるとともに、授業で新聞記事を扱うなどし、情報を活用していく手法について指導していきたい。また、NIE教育を通して、情報が社会の中で果たす役割や影響についても伝えたい。

○「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」という質問に対して42%の生徒が肯定的回答をしている。これは全国平均の38.7%を上回っている。「実際に地域社会のボランティア活動に参加したことがある」と答えた生徒が51.5%おり、関心の高さがうかがえる。

今後は、実際に地域のために自分たちに何ができるか、具体的に意見を述べ合ったり、文章にまとめたりして、地域に貢献していく心を育てていきたい。

●「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という問いに対しては24.3%の肯定的回答があった。この数字は全国平均の45.6%を大きく下回っている。これは、先述したボランティア活動等が学校を窓口として行われるため、自らが地域の行事に参加している、という意識が低いのでは、と推測される。

今後は、地域の方とのふれあいをより多くして、実践したボランティアがどのように地域の方に受け止められているのか、などのフィードバックを与えていきたい。

●「学校の授業以外に普段(月～金)1日どれくらい勉強をしますか」という問いに「2時間以上」と回答した生徒が全体の24.9%であった。これは全国平均の36.4%を大きく下回っている。「30分以下」と回答した生徒も全体の14.2%おり、家庭学習の習慣が確立されていない様子がうかがえる。

学校としては、毎日の放課後10分間の常学習(陽西タイム)の他、土曜学習サポート、水曜の放課後の学習サポート、水曜の朝の学習などを設定しているが、さらに月・火・木・金の放課後1時間程度の学習サポートを実施する。これを家庭学習につなげていこうとする試みであるが、現在40名以上の生徒が参加を希望している。

○「自分にはよいところがありますか」という質問に対して83.5%が肯定的回答をしている。これは全国平均の78.8%を上回っており、自己肯定感が培われている生徒が多いことがうかがえる。また「将来の夢や目標を持っていますか」という質問にも75.8%の生徒が肯定的回答をしており、こちらも全国平均の72.3%を上回っている。

今後は、将来の目標に向けた進路選択がしっかりとできるよう、生徒や保護者の思いに寄り添った進路指導をしていきたい

宇都宮市立陽西中学校 (第3学年) 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
学習意欲を高め、学力向上を目指した指導の充実	一人一授業の実施や職員研修の充実を図り、教員一人一人が日々、授業力の向上に努めている。 読書の習慣化を目指し、朝の会前の10分間を「朝の読書」の時間に設定し、全校体制で取り組んでいる。 また基礎学力の定着を図るため、帰りの会終了後の10分間を「陽西タイム」とし、ドリル学習を本年度も継続実施している。「学力向上の日」として水曜日には、朝の学習を30分、放課後は「レベルアップ学習」として1時間程度、希望者に対する「学習する場」の提供も継続している。夏季休業中も7日間の「学習サポート」を実施し、1教科で複数コースの設定をするなど生徒の学力に配慮し指導に当たった。今年度も希望者を対象に、地域協議会と学校の共催で月に1～2回「土曜学習サポート」を実施している。また、10月より、3年生の希望者を対象に水曜日以	「平日の読書時間」についての質問に関して、30分以上と回答した生徒が3割以上おり、国語Aの「読む能力」の平均正答率が80.5%と高く、全国平均を4ポイントも上回っている。 「数学の勉強は好きか」の質問に肯定的に回答した生徒の割合は、4割に届かず、県の平均を約15ポイントも下回っているが、「数学ができるようになりたい」には、9割以上の生徒が、「数学の勉強は大切だと思う」には、約8割の生徒が肯定的に回答している。 理科においては「自然事象についての知識・理解」の平均正答率が73.7%と高く、全国平均を5ポイントも上回っているが、「自然事象への関心・意欲・態度」に関しては、全国平均を6ポイントも下回り、「理科の勉強は好きか」・「理科の勉強は大切だと思う」の質問に肯定的に回答した生徒の割合は両方とも6割に届かず、県の平均を約14ポイントも下回っている。
家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫	年度初めに、家庭学習の仕方・自主学習ノートの取組についての資料を全生徒に配付し、再度徹底を図った。 毎日提出を原則とし、その後の指導に生かしている。	「家で、学校の授業の予習・復習をしているか」の質問に肯定的に回答した生徒の割合は6割あり、全国の平均は上回っているが県の平均を10ポイント以上下回っている。更なる自学ノートの徹底が望まれる。